

恐竜化石を活用した自治体連



連携の覚書を交わす

恐竜化石を活用したまちづくりや教育を行っている4市町が丹波市に集まり、恐竜化石を核としてさまざまな分野で連携を行うことを約束しました。協定締結を前提に覚書を交わしました。

まちづくりで交流

5月23日、丹波市で恐竜化石を活用した自治体連携協議が北海道むかわ町、熊本県御船町、兵庫県篠山市、丹波市の4首長出席の下、行われました。4市町はそれぞれ、むかわ町、みふね町、角竜類、丹波竜と恐竜化石が発見されています。恐竜化石を核として、まちづくりや教育、観光、特産物、災害応援などのさまざまな分野での相互交流を行うことを目的とし、協定締結を前提とした覚書を交わしました。

11月のフェスタで協定めざす

4市町は、互いに連携して、恐竜化石を生かしたまちづくりを進めること、長く交流を続けることを誓いました。今後は、分野ごとに具体的な内容の協議を進め、11月26日の丹波竜フェスタ開催時をめどに、4者による協定締結をめざします。



丹波竜化石発見現場を視察する首長ら

化石発見現場を視察

4首長は、覚書を交わした後、丹波竜化石発見者の一人である、村上茂さんの案内で、丹波竜化石工房「ちーたんの館」や4月に完成したばかりの丹波竜の里を視察しました。丹波竜化石発見当時の秘話のほか、おとしの卵化石発見についても話がおよび、大いに盛り上がりました。

恐竜化石の魅力を全国に発信へ



むかわ町長 竹中喜之

丹波市は、魅力的なものがたくさんあることが分かった。自治体連携をきっかけに、4市町の多種多様な互いの魅力を磨いて、つないでいきたい。全国に4市町の魅力を発信して、子どもたちに夢やロマンを伝えたい。



御船町長 藤木正幸

恐竜化石や地層の魅力を発信するのに、1町だけでは限界があると考えていた。連携を持ちかけていただけて大変嬉しかった。今後は、4市町と連携しながら地層を学ぶ全国の小学生などに魅力を発信していきたい。



丹波市長 谷口進一

市長就任以降、丹波竜化石のPRがもっと必要だと考えていた。連携を打診したところ、快く受け入れていただき感謝している。4市町は、財政状況や地域課題など、共通点も多い。末永く交流を続けたい。



篠山市長 酒井隆明

この3月、篠山層群を野外博物館とする「丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム構想」内の化石学習拠点「太古の生きもの館」が整備された。連携をきっかけに、教育面のほか、観光の面でも活用を進めたい。

夏のビッグイベント！ 夏期特別展開催

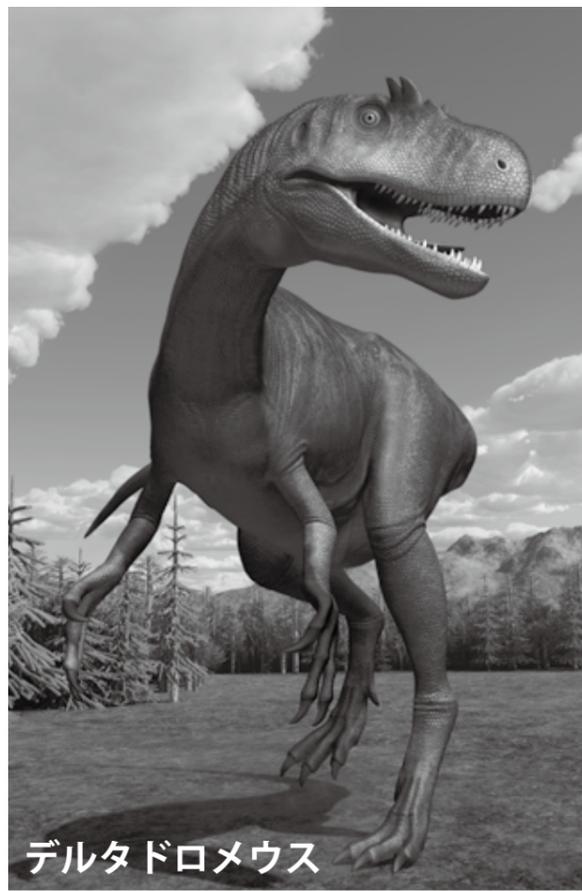
7月22日（土）～8月31日（木）まで、丹波竜化石工房「ちーたんの館」で夏期特別展を開催します。今年のテーマは「丹波竜と獣脚類展」。全長15mの丹波竜の実物大の全身骨格模型とともに、全長8mのデルタドロメウスの全身骨格模型をメインに展示します。併せて、卵を抱いた動く恐竜ロボット「オヴィラプトル」も登場！

また、期間中、昨年大好評だった、夜のちーたんの館「ナイトミュージアム」イベントも開催。8月11日（金）～20日（日）の10日間で、夜間特別ライトアップを行い、いつもと違う雰囲気みなさんをお迎えします。

■とき／7月22日（土）～8月31日（木） 午前10時～午後5時、8月11日（金）～20日（日）のみ午後7時30分～9時も開催 ※休館なし

■ところ／丹波竜化石工房「ちーたんの館」

■入館料／大人200円、小・中学生100円



デルタドロメウス